

教職課程 概要（新潟青陵大学看護学部）

1. 教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画に関すること

1. 取得可能な教員免許状

看護学部看護学科 養護教諭一種免許状

2. 教員養成の目標

新潟青陵大学は、「生命尊厳・人間尊重の理念に基づき、国民の福祉と健康を支え、全人的な視点からこれを保証する社会の要請にこたえと共に、クオリティ・オブ・ライフ（QOL）の向上を実現する」という教育理念を掲げ、本学の教育目標を次のように定めています。

1. 感性豊かな人間性を備えた人材の育成
2. 柔軟な判断力と高度な専門性を備えた人材の育成
3. コミュニケーション能力を担えた人材の育成

新潟青陵大学の教職課程では、本学の教育目標を受けて、以下のような教員養成の目標を掲げています。

1. 教育者としての使命感、児童生徒に対する教育的愛情の養成
2. 養護の専門家としての確かな力量の育成
3. 養護に関する専門的知識を基盤とした実践的指導力の育成
4. 養護が担うべき役割を認識し、周囲の人々と協力・連携する力の育成
5. 養護活動を推進していく人間力の育成

3. 教員養成の計画

履修年次		到達目標
年次	学期	
1年次	前期	体の仕組みと発達過程について理解している。
		理論立てて自分の意見を述べたり、答えたりすることができる。
	後期	子どもに多い疾病について医学的に理解している。
		人間のライフステージと子どもの発達の特徴について理解している。 人体の構造と機能について系統的・総合的理解し、概説することができる。
2年次	前期	教育学上の諸思想や諸理論に見られる教育作用の本質、経験と体験、学校の教育目標などについて、教育上の実践的諸問題をもとに概説することができる。
		教職の意義及び教員の役割について理解し、具体的な実践場面における教員の在り方を述べることができる。
		教員の職務内容を理解し、その根拠となる教育法規等を具体的に説明することができる。
	後期	疾病および障害をもつ人への看護や養護について理解をしている。

	後期	発達過程における各期の発達特徴と病気変化及び病態の特徴を理解している。
		健康障害がある子どもの身体的・心理的・社会的特徴を述べることができる。
		健康障害のある子どもへの障害ごとの援助方法について述べるができる。
3年次	前期	看護実習を通して疾病や障害を持つ人への看護や養護を実践できる。
		子どもの健康にかかわる生活や環境を理解している。
		チーム支援の意義がわかり、他者と連携して問題解決に当たることができる。
	後期	学校保護活動の概要について理解し、学校保健活動の実践のための計画が立案ができている。
		学校保健における現代的課題について資料・文献を調査し、分析ができる。
		養護教諭の職務の本質と目標、専門性と機能、対象と場について理解している。
		授業を共同で構想して行うことができる。
		学習指導要領の規定を中心として、教育課程について理解している。
4年次	前期	養護実践の意義、活動過程について理解している。
		養護教諭の職務について理解し、救急処置、健康診断、健康相談など実習や学習支援ボランティア活動を通して行うことができる。
		学校保健における現代的課題について主体的に問題意識を持つことができる。
		学校教育が目指しているものを理解している。
		ヘルスプロモーションの理念や、地域保健の役割について理解している。
	後期	養護教諭としてのアイデンティティが形成されている。
		養護実践について理解している。
		子どもの健康課題に応じて課題解決に向けた指導を行うことができる。
		高い倫理観と規範意識を持ち、自己の職責を果たそうとする態度が身についている。

2. 教員の養成に係る組織及び教員の数、各教員が有する学位及び業績並びに各教員が担当する授業科目に関すること

1. 組織及び教員の数

[・学生数・教職員数（大学概要）](#)

2. 各教員が有する学位及び業績

[・教員紹介](#)

[・research map（データベース型研究者総覧）](#)

3. 各教員が担当する授業科目

■養護に関する科目

専任等の別	教授等の別	氏名	担当授業科目
専任	教授	渡邊 典子	母性看護学概論
専任	教授	坪川 トモ子	公衆衛生学

			公衆衛生看護学概論 在宅看護学実習
専任	教授	菅原 真優美	看護生理学
専任	教授	石田 道雄	病態生理学
		中平 浩人	公衆衛生学 保健医療・福祉行政論
専任	教授	池 睦美	看護生理学
専任	教授	上原 喜美子	成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ
専任	教授	塚原 加寿子	学校保健学Ⅰ 学校保健学Ⅱ 養護概説 健康相談活動論 養護実習 教職実践演習（養護教諭）
専任	教授	佐藤(中根) 薫	成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ
専任	教授	佐々木 祐子	成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ
専任	准教授	小林 正子	母性看護学実習
専任	准教授	和田 由紀子	小児看護学概論 小児看護学 小児看護実践論 小児看護学実習
専任	准教授	清水 理恵	成人看護実践論 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ
専任	准教授	田中 瞳	成人看護実践論 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ
専任	准教授	桐原 更織	小児看護学 小児看護実践論 小児看護学実習
専任	准教授	久保田 美由紀	母性看護学 母性看護学実習
専任	准教授	小島 さやか	母性看護学 母性看護学実習
専任	助教	泉田 貴美子	看護生理学
専任	助教	石田 真由美	保健医療・福祉行政論 母性看護学 母性看護学実習

専任	助教	藤野 清美	精神看護学概論 精神看護学 精神看護学実践論 精神看護学実習
専任	助教	伊豆 麻子	保健医療・福祉行政論 公衆衛生看護学概論 在宅看護学実習
専任	助教	山田 悦子	成人看護実践論 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ
専任	助教	浅野 仁美	看護生理学
専任	助教	猪浦 智史	精神看護学 精神看護学実践論 精神看護学実習
専任	助教	森田 千穂	母性看護学 母性看護学実習
兼担	准教授	花澤 佳代	精神保健学Ⅰ
兼担	准教授	関谷 昭吉	精神保健学Ⅰ
兼担	講師	内藤 守	精神保健学Ⅰ
兼担	講師	渡邊 香奈子	感染免疫学
兼担	講師	玉浦 有紀	臨床栄養学（栄養学を含む）
兼担	講師	佐藤 昇	人体の構造と機能
兼担	講師	池田 忠雄	薬理学

■教育の基礎的理解に関する科目等

専任等の別	教授等の別	氏名	担当授業科目
専任	教授	中野 啓明	教育本質論 道徳指導法 総合的な学習の時間指導法 養護実習 教職実践演習（養護教諭）
専任	教授	塚原 加寿子	養護実習 教職実践演習（養護教諭）
専任	助教	堀田 雄大	教育方法論 養護実習 教職実践演習（養護教諭）
兼担	教授	中村 恵子	特別支援教育論 生徒指導論
兼担	教授	佐藤 朗子	教育・学校心理学
兼担	特任教授	伊藤 充	教師論 教育制度論

			養護実習 教職実践演習（養護教諭）
兼任	教授	碓井 真史	教育相談論（カウンセリングを含む）
兼任	講師	伊藤 敦美	教育課程論
兼任	講師	田村 和弘	特別活動指導法

■大学が独自に設定する科目

専任等の別	教授等の別	氏名	担当授業科目
専任	教授	中村 恵子	発達支援実習Ⅰ 発達支援実習Ⅱ 発達支援実習Ⅲ
専任	教授	塚原 加寿子	発達支援実習Ⅰ 発達支援実習Ⅱ 発達支援実習Ⅲ 保健管理実習
専任	助教	堀田 雄大	発達支援実習Ⅰ 発達支援実習Ⅱ 発達支援実習Ⅲ

■教育職員免許法施行規則第66条の6に関する科目

専任等の別	教授等の別	氏名	担当授業科目
専任	助教	堀田 雄大	IT活用演習Ⅰ IT活用演習Ⅱ
兼任	准教授	中野 充	IT活用演習Ⅰ IT活用演習Ⅱ
兼任	准教授	里見 佳香	人の暮らしと日本国憲法
兼任	准教授	メギール イーエン	英会話Ⅰ 英会話Ⅱ
兼任	講師	中島 孝子	スポーツⅠ
兼任	講師	豊嶋 亜紀子	スポーツⅡ

3. 教員の養成に係る授業科目、授業科目ごとの授業の方法及び内容並びに 年間の授業計画に関すること

[・シラバス検索（大学・短大）](#)

4. 卒業者の教員免許状の取得の状況及び教員への就職の状況に関すること

卒業年 (3月卒)	養護教諭一種免許状の 取得者	養護教諭採用者 (非常勤含む)
2015	16	7
2016	21	9
2017	14	5

2018	14	9
2019	20	14
2020	24	13
2021	15	10
2022	15	4
2023	17	10
2024	14	5

5. 教員の養成に係る教育の質の向上に係る取組に関すること

1. 発達支援実習

養護教諭課程の学生を対象とした看護実習（3 単位）として、以下の発達支援実習を行っています。

1. 発達支援実習Ⅰ（3 年後期）
新潟市立東特別支援学校及び新潟市立東特別支援学校における実習
2. 発達支援実習Ⅱ（3 年後期）
新潟青陵高等学校における実習
3. 発達支援実習Ⅲ（4 年前期）
新潟市内の小学校や中学校における実習

2. 実践的な教育活動

4 年時の養護実習の事前指導の一環として、模擬健診や模擬授業等の実践的な教育活動を行っています。

1. 模擬健診
学校で行う定期健康診断について、体験を通して、計画立案から実施、評価までの一連の過程を学びます。
2. 模擬授業
教材研究をして指導案を作成し、保健指導や保健学習の模擬授業を実施しています。

3. 学校現場におけるボランティア活動

新潟市教育委員会の担当者、本学のボランティアセンター及び教職課程の担当者が協力し、多様な学校現場でのボランティア活動の場を提供しています。

1. 学習支援ボランティア活動
幼・小・中・特別支援学校において、授業補助、個別指導、学校行事の補助等を行います。週 1 回、全日又は半日のペースで、半年間程度継続します。
2. 健康診断支援ボランティア活動
支援要請のあった学校において、健康診断の補助等を行います。
3. 新潟青陵大学メンタルフレンド活動
広く地域の子どもたちとふれあう活動を通じて、子どもたちの健全な育成を援助します。
4. 学習サポーター活動
中学校における授業時間以外の平日（放課後等）、土曜日午前及び長期休業中の学習活動を支援

4. 履修指導及び教育相談等

教職課程の教員が中心となって、教職課程全般に関するガイダンスや教職課程の履修指導、教員採用選考検査の対策講座、教育相談等を行っています。